



「認知症」かな？ 困ったときはひとりで悩まず相談を



城東区では、認知症になっても本人の意思が尊重され、
できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会の実現をめざしています。

地域で支え合うために「認知症」を知ろう！

区の認知症高齢者等数(※)は、年々増加傾向にあります。
それに伴い、徘徊・保護を繰り返すケースや高齢者虐待の通報件数も増加しています。
虐待防止等の取組みにおいては、地域における認知症高齢者やその家族への支援が重要となります。

城東区の認知症高齢者等数が 増加中！

平成29年
(3月末) **1,991人** 令和3年
(4月1日現在) **2,364人**

2,364人

※「認知症高齢者等数」とは、「何らかの介護・支援を必要とする認知症がある高齢者」とされる「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の人としています。
(「2015年の高齢者介護」<高齢者介護研究会 平成15年6月>より)

認知症ってどんな病気？！

Q & A



城東区マスコットキャラクター「コスモちゃん」

いっしょに
認知症について
知ろう！

Q 認知症ってどんな病気？

A 認知症とは脳の病気です。脳は私たちのあらゆる活動をコントロールしている司令塔です。指令がうまく働かなければ、心も身体もスムーズに働かなくなります。
認知症とは、いろいろな原因で脳の働きが低下し、日常生活を送りにくくなる状態をいいます。
すなわち、認知症は誰もがなる可能性のある脳の病気です。



Q 認知症はどんな症状があるの？「もの忘れ」が多くなるの？

A 認知症の症状は、もの忘れがひどくなる、新しいことが記憶できない、今まで日常でできていたことがすこしずつできなくなるといった一般的な特徴のほか、抑制の効かない行動や本能のおもむくまま「我が道を行く」といった行動をとりはじめることもあります。



Q 認知症かどうかわからない、 誰に相談すればいいかわからないときは？

A 最近の出来事や行動を忘れてしまったり、順序立てて行動することができなくなってきたり、「認知症かな？」と思われるような症状に気づいたら、**地域包括支援センター**や**総合相談窓口(ランチ)**へお気軽に相談してください。
早く相談することで、適切な接し方や治療により、良い状態が維持できれば、ご家族の皆さんも落ち着いた生活を送ることができます。



城東区の地域包括支援センターと総合相談窓口(ランチ)では、
令和2年度だけでも年間**27,624件**の相談をいただき、そのうち**約4件に1件**が
認知症関係の相談でした！

城東区の地域包括支援センターと総合相談窓口(ランチ)

城東区地域包括 支援センター(ゆうゆう)

【担当地域(連合)】
・榎並・成育・聖賢・鯉江
【住所】 中央2-11-16
☎ 6936-1133 FAX 6935-8737



担当地域内の 総合相談窓口(ランチ)

◎蒲生ランチ(和光)
【住所】 成育5-22-16
☎ 6935-0577 FAX 6935-0677



城東・放出地域包括 支援センター (城東地域在宅サービスステーション諏訪荘)

【担当地域(連合)】
・今福・放出・東中浜・諏訪
【住所】 諏訪4-12-28
☎ 6964-0808 FAX 6964-1818



城陽地域包括支援センター (特別養護老人ホームしぎの黄金の里)

【担当地域(連合)】
・鳴野・中浜・森之宮・城東
【住所】 鳴野東2-26-12
☎ 6963-6700 FAX 6963-6701



董・鯉江東地域包括 支援センター

【担当地域(連合)】
・董・関目・関目東・鯉江東
【住所】 関目3-8-17 1階
☎ 6786-2255 FAX 6786-2238



担当地域内の 総合相談窓口(ランチ)

◎鯉江ランチ(城東園)
【住所】 今福東2-2-25
☎ 6931-3825 FAX 6931-7570



地域包括支援センター・総合相談窓口(ランチ)の主な仕事

- 自立した生活の
お手伝いをします
- 地域の関係機関と
連携して支えます

●高齢者の皆さんの 権利を守ります

認知症の人などへの成年後見制度活用についての相談や高齢者虐待、消費者被害を防ぐための取組みなど、高齢者の皆さんの権利を守るためのさまざまな活動を行っています。

認知症支援について
知っていただくため、
3月14日(月)に事業紹介&
映画上映会を開催します！
詳しくは10ページの
イベントをご覧ください。



城東区社会福祉協議会 マスコットキャラクター「じょーたん」

認知症になっても地域での生活を支えるための相談窓口があります

オレンジチーム(認知症初期集中支援推進事業)とは？

認知症サポート医と看護師・介護福祉士等の専門職で構成するチーム(ゆうゆうオレンジチーム)。このチームは、認知症の方、認知症の疑いがある方、一人ひとりに応じた適切な医療サービスや介護サービスにつなげ、住み慣れた地域で暮らし続けられるように自宅訪問しながら支援します。

皆さんの協力も必要です！

認知症サポーターとは？

認知症を理解し、認知症を支援する応援者。認知症サポーターの養成を進めることで、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進しています。あなたも認知症サポーターとなり、自分の家族や、地域の方、友達、知人が安心して暮らせる応援者の一人になりませんか。

問合せ▶保健福祉課(福祉) ☎ 6930-9857 FAX 6932-1295

